
古賀市環境審議会（第 47 回）議事録

1 期日 令和 3 年 6 月 29 日（火曜日）10 時から 11 時まで

2 場所 リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室

3 出席委員（10 名）

会 長	薛 孝夫	委 員	安武 祐子
副会長	渡邊 裕子	委 員	吉見 一郎
委 員	島岡 隆行	委 員	花田 徳弘
委 員	菊次 憲二	委 員	中屋 允雄
委 員	小林 智美	委 員	三戸 優理

4 欠席委員（4 名）

委 員	上杉 昌也	委 員	鬼倉 徳雄
委 員	二渡 了	委 員	木庭 かおり

5 傍聴者数 なし

6 事務局出席者職氏名

市 長	田辺 一城	市民部長	清水 万里子
環境課長	智原 英樹	環境整備係長	村山 隆一
主任主事	市川 翔		

7 議題等

- ・委嘱書交付
- ・委員紹介
- ・会長、副会長選出
- ・「古賀市環境人材バンク制度」にかかる報告について
- ・今後のスケジュールについて

8 配布資料

- （事前配布）
- ・次第
 - ・第 10 期古賀市環境審議会委員（名簿）【資料 1】
 - ・「古賀市環境人材バンク制度」にかかる報告について【資料 2、資料 3、資料 4-1、資料 4-2、資料 4-3】
 - ・今後のスケジュールについて【資料 5】

概要

1. 開会あいさつ

- ・市長よりあいさつ。

2. 委嘱書交付

- ・代表して前会長の薛委員に、市長より委嘱書を交付

3. 委員紹介

- ・事務局より出席委員・事務局を紹介

4. 会長・副会長選出

- ・立候補・推薦などがなかったため、事務局から会長に薛委員、副会長に渡邊委員を推薦。異議等なかったため決定し、薛会長、渡邊副会長から挨拶。

5. 「古賀市環境人材バンク制度」にかかる報告

「古賀市環境人材バンク制度」について、配布資料に基づき、事務局より報告。

- ・質疑・応答。

○三戸委員： 環境アドバイザーは何名か登録があるということだが、環境サポーターはまだあまり登録がないのか。

●事務局： 環境サポーターについては、1名登録がある。先ほど紹介した、環境アドバイザーに登録いただいている宿理氏に環境サポーターにも登録いただいている。

○三戸委員： 個々の環境教育プログラムにもよると思うが、環境教育プログラムによっては環境サポーターがいることを前提としているものもあり、環境サポーターがいないと実施できない事態になってしまうのでは。そのあたりはどうお考えか。

●事務局： おっしゃるとおりで、環境サポーターが大勢必要で、環境アドバイザーひとりでは実施できないような環境教育プログラムもあろうかと思う。さらに広報を充実させ、すべての環境教育プログラムが問題なく実施できるよう、環境サポーターの確保に早急に対応したい。

○渡邊副会長： 高校生もボランティアには凄く興味があると思う。市内に高校も2校あるので、そういうところに直接アピールされてはどうか。

●事務局： 高校生には、ぜひお願いしたいというこちらの意向もあり、昨年から竟成館高校には相談に行っているが、現在、竟成館高校が色々な事業を各方面から受けており、なかなか時間がとれないということで、高校生についてはうまく話がすすめられていない状況である。

○小林委員： 竟成館高校には、部員は少ないが、ボランティア部があると聞いている。学校全体ももちろんだが、そういったもともと興味があるようなところにピンポイントで積極的にいってもらおうと突破口になるのではないかと。

また、現在予定しているイベント等などで学校に出張してみてもどうか。イベントがあっても個人で申し込みをすることは、それだけでエネルギーを要すると思う。例えば、学校の環境に関する啓発授業などに入れるのであれば、啓発の一環にもなるし、興味をもった学生に環境サポーターになってもらい、そういったところから少しずつ裾野を広げていくというのも一つの方法である。

- 事務局 : 竟成館高校に相談にいった際にも、ボランティア部でどうかという話はさせていただいている。みなさんがおっしゃられるように、若い力が入ってくると、楽しく、また活性化する部分もあるので、そこから興味をもっていただくきっかけになる。さらに、既存の団体もメンバーの入れ替わりや次世代の育成といういい効果もあるので、当初から高校生にはぜひ関わって欲しいという意向はある。いまご提案いただいた方法等を参考に、竟成館高校、玄界高校の2校にはできる限りPRを続けていきたい。
- 島岡委員 : 自発的に環境アドバイザーや環境サポーターになっていただける方を待つという手もあるが、候補者リストを作成して積極的に願うのはどうか。また、環境アドバイザーから環境サポーターを推薦していただいたり、反対に環境サポーターから環境アドバイザーを推薦していただいたり、人のつながりを利用するのも一つの手である。
- 事務局 : 環境アドバイザーの候補者リストについては、こちらで思いつくところを早急に作成し、直接お声かけしていきたい。環境サポーターについても、環境アドバイザーの方が既にネットワークをお持ちでらっしゃると思うので、お尋ねして、さらに環を広げていきたい。委員の皆様からもぜひ、推薦や情報提供をお願いしたい。
- 中屋委員 : 本日小林委員がおられるが、古賀市ホテルの会は、ほぼ毎年、水生生物の調査をしておられるので、環境アドバイザーに推薦したい。環境ボランティア団体のメンバーは、みな高齢化がすすんでいるのですぐいい返事はもらえないが、古賀市ホテルの会は、古賀のホテルの生態など、団体に登録できそうなメニューがたくさんある。
- 事務局 : ぜひ、登録をお願いしたい。
- 吉見委員 : 環境教育プログラムの紹介のところで、環境教育プログラムが環境サポーターを必要としている場合は、その旨を記載してはどうか。ご覧になった方の中で、環境アドバイザーは無理だが環境サポーターならなりたという方も出てくるのではないか。
- 三戸委員 : 一見では、環境サポーターが必要なのか、必要ではないのかも分からないので記載した方がいい。
- 事務局 : 環境教育プログラムの紹介については、環境サポーターを要するのか、どのくらい必要なのか、また、サポーターを募集している旨もあわせて記載したい。
- 渡邊副会長 : 【資料3】の環境教育プログラムの内容のところで、「準備するもの」の

ところの主催者に、椅子や広めの会場、資料印刷などが書いている場合と書いていない場合があるので、統一した方がいいのではないかと書いている。

- 事務局 : 答申書に記載したとおり、会場費、資料代、材料代、保険料等、利用者負担がある部分についても含め、表現方法について精査したい。
- 島岡委員 : 例えば「準備するもの」の参加者欄に「土」と記載したら、例えば土など、参加者が持ってこないといけなくなるので、「土代」など、表現方法を検討していただきたい。
- 薛会長 : 様々な意見が出たが、例えば、「参加者が環境教育プログラムに参加する時に持参するもの」と「主催者が会場に準備するもの」に分けるなど、分かりやすく整理していただきたい。
- 事務局 : 承知した。

6. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて、配布資料に基づき、事務局より説明。

質疑・応答

- 薛会長 : 環境報告書の審議は、これまで12月頃だったが、今年度、9月にできるということは喜ばしい。
- 事務局 : 昨年は特に作成が遅れており、予算に反映できないという問題も生じていた。今年度は遅くとも10月には発行できるように動いている。
- 薛会長 : 7月に環境人材バンク制度の運用開始だが、利用申請についての働きかけは始めているか。
- 事務局 : 4月に要綱を制定し、今は人材の募集など、プログラム提供体制の整備中だ。利用を促す動きは、7月1日を目途に環境教育プログラム一覧等を掲載してから開始したいと考えている。
- 薛会長 : 了解した。

7. 事務局からの連絡事項

- ・報償・費用弁償については、7月中の振込を予定している。
- ・会議録は作成次第、委員全員にメール・郵送し、内容等に誤りがないか確認をお願いしたい。会長の承認後、会議録についてはホームページで公開する。

8. 閉会
